

産業展望

推移する一方で、人手・技術者不足などの問題が深刻化している。製造業者にとっては、資源が少なく販売市場も小さく、「島」では果てんハーディ

命会会长 吳屋守章氏

焦点

ま設走回押

国内外の提携後押し

があり 求人票の提出も県内企業は遅いと言わされてきた。今後は求人票の早期提出やインターネットの積極的な受

ルミ製品、酒造など、同規模の振興にも、より力を入れての他県にはない製造業が立地、本土や海外市場への販路拡大も進めている。「現在は公共工事がめじろ押しで建設資材製造の業績は回復している。那覇空港の滑走路増設に加え、MICE施設、モノレール延伸事業も始まる。鉄軌道やユニバーサル」

・スタジオ・ジャパンの計画が決まれば、10～20年スパンで大型工事が続く。観光客の増加に伴い、土産品としての菓子類製造も元気がある」

ー強化すべき施策・目標について

「那覇空港では国際物流ハブ機能が着実に拡大していく、付加価値の高いを製品をつくるためには技術力の向上が決まりたい。同地域には県金刑技術センターを中心に企業も集積してきた。食品だけではなく、島しょ環境の中で生み出された沖縄独自の技術や機器などは海外展開の可能性が大きい。小さくとも光るもの、付加価値の高いを製品をつくるためには技術力の向上

充が必要だ。船が来れば企業誘致はもつと進むだろう」一人手・人材不足も課題になつてゐる。

JAPおまなわ（砂川博紀）
理事長）は19日、豊見城市
立中央公民館で第13回通常
総代会を開いた。環太平洋
連携協定（TPP）が、最
終局面に差し掛かっている
ことから「TPP交渉に関
する国会決議の順守を徹底
して求めていく」などとし
た特別決議を可決した。2

TPP情報開示をJAおきなわが特別決議

外市場への販路拡大などを盛り込んだ事業計画が承認された。特別決議は「国民への十分な情報開示を徹底すべきだ」とし、「農業関係者に対し、明確な状況説明を行うべきだ。農業所得の増大、農業生産の拡大および地域活性化に向け、組織一丸となべきだ。農業運動を展開する」とした。

に農畜産物と加工品の安定供給体制の確立に取り組むとしている。

15年度は引き続き、主要農畜産物の生産・販売拡大による農業算出額と農業所得の増大など農業部門の取り組みに重点を置く。新た

キクラゲを栽培している上
PRするAS開発の吉岡
S開発提供)



モズク成分 胃腸症へ効能



胃もたれや胃痛などに効果がある可能性が示された「フコイダン」を含む沖縄県産モズク

県内業者 付加価値増に期待

「フコイダンは海草などに多く含まれるねばねばとした成分。患者を対象にした臨床研究で、沖縄モズクのフコイダンを4週間、1日240ミリグラム摂取すると、6人中5人の自覚症状が減った。

た。 43回日本潰瘍学会」で発表し、
技術大学院大学で行われた「第19回恩納村谷茶の沖縄科学

同月10人となり、過去最高を更新するま市）の伊波匡彦社長は、「『沖縄モズクが胃に優しい』との認識が広がり、付加価値が上がるきっかけになる」と期待している。

地域 会長 ○... 県商工



新報社を
日付。任
金秀商事

○：沖の美里義、就

美里
沖繩